



NIITSU Station

ホット
はいつホットステーション

2007. 1 vol.670

発行所 新潟商工会議所
〒956-0864 新潟県新潟市新津本町3丁目1番7号
TEL 0250(22)0121 FAX 0250(25)2332
Email:n-cci@fsinet.or.jp
URL http://www.niitsu.or.jp/
編集発行人 里村 進 毎月1回発行



花のまち新津の代表鉢花「アザレア」



6月上旬、「食と花の世界フォーラムにいがた2007」の花の国際見本市のメイン会場となる新潟県立植物園



4月1日政令指定都市新潟市誕生 新津工業団地付近から旧新潟市街地と朱鷺メッセを望む。(写真撮影：藤田峯男氏)

新年のごあいさつ

新潟商工会議所会頭

馬場 欣一

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり、「今年こそは災害のない平和で幸せな一年となりますように」皆様とともに祈りたいと思います。会員の皆様には、日頃、当商工会議所が多様なご支援とご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。今年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



顧みますと、昨年もいろいろなことが起こった年でありました。

まず、昨年も台風、地震などの天災が続き、大風や大雨により全国各地に甚大な被害をもたらしました。特に、昨年11月の北海道佐呂間町の竜巻で多くの犠牲者が出たことなどは記憶に新しい出来事であり、ここ毎年、天災が連続するのは地球規模で大きな変動が起こっているのではないかと心配です。世界情勢では、北朝鮮問題が依然として危機的状況にあります。拉致問題の膠着化に加えて、ミサイルの発射や核実験の実施など心配が増え、早期に関係6ヶ国による協議を成功させて、平和裡での決着を望みたいと思っております。また、イラク情勢の泥沼化やイランの核疑惑なども先行きが心配であります。一方、アメリカ力でも、昨年11月に行われた中間選挙により与党共和党が敗北したためブッシュ大統領の従来の「アメリカ一国主義」の政策が修正されて、これを切っ掛けに世界中の紛争解決の糸口になつてもらいたいものです。

政治では、昨年9月に、「改革の象徴」であった小泉首相が退任し、安倍首相が誕生しました。安倍内閣も改革を継続する様ですが、改革一辺倒ではなく、どちらかというところ「経済成長」に軸足を置くように感じられます。格差の是正や地方や中小企業への好景気の波及などの経済政策をしっかりとやって頂き、我々の期待にこたえて欲しいものです。

社会関係では、全国に広がる学校のイジメ問題・高校の未履修科目問題などの教育関連問題、殺人・傷害・サギなどの犯罪の多発問題、親子関係の断絶問題、など人間の守るべきモラルを軽視した社会風潮が蔓延してまいりました。ここで改めて個人一人一人が人間のありようについて反省する必要があると感じます。

さて、日本経済は、2002年2月に始まった現在の景気は戦後最長の「いざなぎ景気」を超えて拡大路線を進んでいるようです。この背景には、バブル崩壊後に企業が抱えた負債、設備、雇用という「三つの過剰」を解消し、企業の輸出や設備投資活動が活発化したことがあります。ただ今回の景気拡大は、過去の大規模景気より成長率が低いという「実感なき拡大」ともいわれています。特に、景気回復のメリットが企業部門にとどまり、家計への波及効果が少なく、今後、個人消費に波及するかどうかの景気動向や原油・原材料価格の高騰などの要因もあり、先行きについては不透明感も格別です。

次に、新潟県の経済は全体的には悪い状態ではなく、全国水準並みに推移していますが、中越地震の復興需要に支えられてきた建設業や原材料高の製造業に陰りが出ているなど、回復基調に一服感がみられます。しかも、

ここに来て、企業の景況感は悪化しており、先行きに懸念が残ります。一方、足下の新潟地域の経済は、中央の好況感とはほど遠く、依然として厳しさが続いており、当地域の企業でも売上高や採算、資金繰りが悪化している先が多く認められます。商店街も大型店との競争が一層激化し、衰退化が顕著で、先行きが非常に厳しい状況にあります。

こうした厳しい状況の中で、当会議所としても着実に諸事業を展開しております。まず、会員や地域住民のために、金融、経営、税務、労務、新規創業等の相談事業と経営革新塾等の各種セミナー・講演会事業や、パソコン講座、ホームページ作成等のIT化事業などに力を入れております。金融等の相談事項がございましたら当会議所の経営指導員に何なりとご相談願います。また、会議所は地域密着活動についても積極的に取り組んでおります。

まず、新潟薬科大学関連活動については、大学・市・会議所の三者による協議会を引き続き開催して、諸課題を協議したほか、同大学の協力を得て、市・会議所共催で「食と薬をテーマにした地域交流講座」を5回シリーズで実施しております。

また、「まちづくり協議会」の活動についても、「新しいまちづくり」について意見交換を行ったほか、区名問題についても、関心を持ち積極的に取り組まれました。その際、有志による署名活動で、多くの方々が協力を頂きましたが、ここで改めて厚くお礼を申し上げます。これからは、合併建設計画等の早期実現のための提言や要望活動を引き続き推進して参ります。また、まちづくり三法の改正を機に、「中心商店街のまちづくり」や「商店街の活性化」問題にも一層取り組んで参ります。

さて、今年4月には、日本海側最初の政令指定都市新潟市が誕生します。8つの区に区政が敷かれ、分権型政令市長さんに大幅な権限委譲をして頂きたいと思っております。そして区と地域企業・住民との相互信頼関係を構築して、「区役所が身近に感じられ、頼りになる」ような区政の運営を切に望みたいと思っております。

当会議所としても、新潟・小須戸地域の「新しいまちづくり」のために、行政をサポートして行きたいと考えております。今年6月には、新潟の金津丘陵地において「食と花の世界フォーラムにいがた2007」が開催される予定になっております。世界や日本中に「花のまち新津・小須戸」を発信する絶好の機会であり、当会議所としても、行政や花関係業者に協力してフォーラムの成功をサポートして参ります。

これからも、地域総合経済団体として、会員の支援と地域の発展のために努力して参りますので、今後とも皆様方の一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

皆様方には、今年一年がますます充実した年となるようにご期待申し上げます。ご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。